

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基盤教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) ボ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S150004	教育哲学	上原秀一	今日の教育に関する諸概念を哲学的に吟味するために、過去の教育思想に関する基礎的な知識を修得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・近代における教育思想の課題の構造を理解する。 ・今日の教育思想の構造の歴史的な成り立ちを理解する。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
S108105	視聴覚教育	川島芳昭	小・中・高等学校の中で特に小学校教員に必要な視聴覚教育の基礎について講義・演習します。具体的には視聴覚教育の背景、目的、方法に関する内容や情報教育との関連について取りあげます。また、視聴覚教材を活用した授業設計や教材の基礎を演習を通して行います。	教育の情報化が進展する中、視聴覚機器を用いた視聴覚教育の在り方を再検討し、「分かる授業」とは何かを考え、専門的技能と幅広い表現力を身につけるとともに、実践と省察により自らを高めていく課題を設定し、その解決に向けた主体的な取り組みができる基礎的能力の修得を目指します。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・学校教育における視聴覚教育の目的・内容を説明することができる。 ・視聴覚教育と教育の情報化との関連について説明することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
s154410	道徳授業論	和井内良樹	本授業では、学校における道徳教育の理論と実際を学ぶと共に、小中学校での「道徳の時間」における授業理論及び指導方法について理解を深め、「道徳の時間」を指導する授業者としての基本的な技能を習得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	学習指導要領における道徳教育の目標及び「道徳の時間」の特質について理解できる。「道徳の時間」の理論と指導方法について理解できる。学習指導案を作成し道徳授業を構想することができる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) ボ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S152007	比較教育	小野瀬善行	諸外国の教育や学校の制度・態様を比較教育文化論的観点から学び、各国の特色を明らかにするとともに、それらとの比較を通して日本の教育・学校の特徴を浮き彫りにしていく。個人・グループによる発表と全員によるディスカッションを行う。	学校教育専攻の専攻専門科目(教育学領域)の一つとして、国際的視野から教育の歴史、現状、課題などの比較検討を行うことで、教育に関する幅広い教養と興味関心を喚起する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・現在日本で問題になっている教育事情を国際的観点で考察できるようになる。 ・各自のテーマに沿って文献資料を元に発表資料を作成し、的確な発表を行うことができる。 ・発表内容について質問・意見を出すなど、議論に積極的に参加することができるようになる。 ・政治・経済・文化などと関連づけながら教育問題を考察できる能力を養う。 	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
S156002	教育方法学	久保田善彦	子どもたちがより深く学ぶことのできる学習環境を実現するために、学習環境デザインの基本的な考え方と改善のサイクルを習得する。	学校教育専攻の専門科目であり、校種、教育内容をこえて、学習環境デザインの視点から教育方法についての知見と実践力を養う。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習環境デザインの主要な概念について、説明することができる。 ・学習者の学びを分析することができる。 ・学習環境デザインの視点から、協働学習をデザインすることができる。 ・学習環境デザインの視点を生かして、グループで模擬授業を実施することができる。 	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S157009	授業の研究	青柳 宏	受講者による模擬授業とその省察「対話としての授業」という視点から、模擬授業の構想、実践、省察に関わる指導をおこなう。	学校教育専攻の専門科目であり、校種、教育内容をこえて、「対話としての授業」という視点から授業を自由に構想し、実践し、省察する力を育む。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	「対話としての授業」という視点から、模擬授業を構想、実践、省察することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
	カリキュラム論	丸山剛史	授業では、①カリキュラムの意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、課程共通科目「教育課程及び方法(特別活動を含む)」の学習をふまえて、カリキュラム概念・カリキュラム研究の動向に関して学習する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・カリキュラムは教師と学校の働きかけの総体であるとともに、子どもの側からみれば「学びの経験」お総体であり、自主的・自発的活動の総体でもあることがわかる。 ・カリキュラムの構造は教科と教科外語活動の2領域から成ることがわかる。 ・カリキュラム研究の動向と論点わかる。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S158205	教育と情報	川島芳昭	小・中・高等学校の中で特に小学校教員に必要な情報教育の基礎について講義・演習します。具体的には情報教育の目標・内容、教育の情報化の状況、情報活用能力の育成、情報モラル等について取りあげます。また、教科の学習指導へICTを活用する基礎的な方法について演習します。	教職・教科に関する知識を修得し、発達段階に応じた教材を工夫し、多様な子どもの個性に即した指導や説明ができる。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・学校教育における情報化の状況と情報教育の目標・内容を説明することができる。 ・学習指導へICTを活用する基礎的な方法が身につけている。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
	教育評価論	丸山剛史	授業では、①教育評価の意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、課程共通科目「教育課程及び方法(特別活動を含む)」の学習をふまえ、教育評価概念・教育評価研究の動向に関して学習する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・教育評価は教師にとっては自らの教育実践をふりかえり、自己反省と自己点検を行う活動であり、子どもにとっては教師の評価活動をおして教師からあたえられる情報を契機に自らの学習活動を点検する活動であることがわかる。 ・教育評価研究の動向と論点がわかる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.4

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S158400	教育統計学	上原秀一	教育統計を活用して我が国や諸外国の教育の特徴を調べるための基礎的な知識を修得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・国内の教育統計を活用して我が国の教育の経年変化の状況を調べる方法を修得する。 ・国際的な教育統計を活用して我が国の教育の国際的な特徴を調べる方法を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
S150106	国際化と教育	上原秀一	国際化の進展に伴って今日の学校と社会に生じている様々な教育課題について基礎的な知識を習得する。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・教育における国際化の進展状況を統計などを活用して理解する。 ・教育の国際化に対応した様々な教育改革の進展状況を理解する。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
	教師教育論	丸山剛史	授業では、①教師教育の意義、②歴史的背景、③現状、④論点について講義を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、教師論・教師教育概念・教師教育研究の動向に関して学習する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・教師教育は、養成教育と現職研修を含む概念であることがわかる。 ・学校において教育活動に従事する職員としての教員は専門職であることがわかる。 ・教師教育研究の動向と論点がわかる。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S175069	教育学演習 I	青柳 宏	受講者が各自の問題意識(テーマ)に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。専門教育学習・教育目標のうち「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」と深い関連がある。	教育に関わる諸問題について、自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
S175041	教育学演習 I	上原秀一	今日の教育問題をさまざまに論じた本を読む練習を行う。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・教育学に関する卒業論文の課題を見つける。 ・教育学に関する専門的な書物や論文をじっくり読み込み、自分なりの考察を深めることができるようになる。・上記作業を通じて、主体的な学習方法と論理的思考法を修得する。 ・受講者間のディスカッションを通じて、思考を広げ、深めることができるようになる。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
S175042	教育学演習 I	小野瀬善行	教育行政、教育政策、学校経営、教育制度の諸分野あるいは教育全般に関する内外の文献を購読し、受講者同士でディスカッションすることによって様々な見方や考え方に触れ、さらに考察を深めていくというプロセスを体験する。	学校教育専攻の卒業論文作成に向けた基礎的知識と方法論を習得するための選択必修科目。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・教育学に関する専門的な書物や論文をじっくり読み込み、自分なりの考察を深めることができるようになる。・上記作業を通じて、主体的な学習方法と論理的思考法を修得する。 ・受講者間のディスカッションを通じて、思考を広げ、深めることができるようになる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) ボ健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S177050	教育学演習 I	川島芳昭	学校教育の課題とその改善方法に関する文献調査の練習を通して、卒業研究のための基礎能力を養成する	学校教育教員養成課程の「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目であり、卒業論文の作成のために必要な研究の準備段階として位置づけられる。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	自分の関心に応じた卒業論文のテーマを見つける。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S177000	教育学演習 I	久保田善彦	受講者が各自の問題意識(テーマ)に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	教育に関わる諸問題について。自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.! の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S175068	教育学演習 I	丸山剛史	授業では、(1) 教育研究の意義、(2) 学術論文の種類、(3) 文献の探索と入手、(4) 先行研究の批判と評価について演習を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、卒業論文作成のための準備的学習として位置づけられている。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育研究を行う意義がわかる。 ・論文(原著論文)、研究ノート、レポート(学習成果報告書)の区別がわかる。 ・文献の検索・入手方法を理解し、入手することができる。 ・先行研究を批判的に検討し、評価することができる。 	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
S175043	教育学演習 I	和井内良樹	本授業では、現代のさまざまな教育問題を視野に入れながら、人間形成としての教育を「人間観」と「形成観」の両面から深く理解していくためにさまざまな文献を受講者と共に読み、それについて全員で議論していく。特に今回は、「人間」と「学び」をテーマとしていく。	本授業では、教育現場に於ける普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて主体的に判断できるための哲学的思考力を培うことに対応する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・単に現代の教育問題を現象的に捉えていくのではなく、その根底にある哲学的、思想的課題を読み解くこと。 	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S176065	教育学演習Ⅱ	青柳 宏	受講者が各自の問題意識(テーマ)に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。専門教育学習・教育目標のうち「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」と深い関連がある。	教育に関わる諸問題について、自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3
S176047	教育学演習Ⅱ	上原秀一	各自の問題関心に関係する教育思想史の原典テキスト(主に和文)や諸外国の教育事情に関する資料などを読む練習を行う。	「学校教育専攻専門科目」の「教育学領域」の選択科目である。学校教育の基盤となる教育学を学ぶための科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・教育学演習Ⅰで見つけた卒業論文の課題について調査方法を検討する。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
S176048	教育学演習Ⅱ	小野瀬善行	教育学演習Ⅰを踏まえて卒業論文のテーマを決定し、文献・資料収集および読み込みと並行して各自発表を行い、考察を深めながら論文執筆につなげていく。	学校教育専攻の卒業論文作成のための選択必修科目。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・教育に関する専門的な書物や論文をじっくり読み込み、自分なりの考察を深めることができるようになる。 ・上記作業を通じて、主体的な学習方法と論理的思考法を修得する。 ・受講者間のディスカッションを通じて、思考を広げ、深めることができるようになる。 ・論文執筆に不可欠な論理的思考力と表現法を修得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S177055	教育学演習Ⅱ	川島芳昭	学校教育の課題とその改善方法に対する具体的な解決策を検討を行い、全体で検討する。	学校教育専攻の卒業論文作成に向けた基礎的知識と方法論を習得するための選択必修科目。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」及び「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	(1) 現実の教育問題と教育(学)研究の課題を区別することができる。 (2) 先行研究を検討し、適切に分析枠組みを設定することができる。 (3) 要点を的確にまとめ、報告することができる。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S177100	教育学演習Ⅱ	久保田善彦	受講者が各自の問題意識(テーマ)に則して発表をおこない、全体で検討する。	学校教育専攻の専門科目であるが、他の科目とは異なり、受講者が自らの研究テーマについて探求し、発表、対話していく力を育む。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	教育に関わる諸問題について、自ら課題を設定し、原理的に、また複眼的に考えることができること。また、他者と対話しながら思考を深化させていくことができること。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.3

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.! の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S176064	教育学演習Ⅱ	丸山 剛史	授業では、「教育学演習BⅠ」での学習をふまえて、(1)分析枠組みの設定方法、(2)報告・報告書作成の方法について演習を行う。	学校教育専攻の専攻専門科目であり、卒業論文作成のための準備的学習として位置づけられている。また、「教育学演習BⅠ」での学習を前提としている。専門教育学習・教育目標のうち「(A)学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B)子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる」、「(C)教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる」、「(D)学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E)他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	<ul style="list-style-type: none"> 「分析」の意義がわかる。 研究の分析枠組みを設定することができる。 要点を的確に整理し、報告することができる。 	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2
S177105	教育学演習Ⅱ	和井内良樹	本授業では、現代のさまざまな教育問題を視野に入れながら、人間形成としての教育を「人間観」と「形成観」の両面から深く理解していくためにさまざまな文献を受講者と共に読み、それについて全員で議論していく。特に今回は「人間」と「学び」をテーマとする。	本授業では、教育学部のDPの内容に即して、教育現場における普遍的・今日的課題について考察し、その解決に向けて主体的に判断するための哲学的思考力を培うことに対応する。専門教育学習・教育目標のうち「(A)学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B)子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる」、「(C)教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる」、「(D)学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E)他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	本授業では、単に現代の教育問題を現象的に捉えていくだけではなく、その根底にある哲学テク、思想的課題を読み解くこと。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.! の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S160000	発達心理学	石川隆行	生涯発達心理学の視点により、精神発達の法則と機構について、講義します。特に発達と学習の相互作用に重点を置いて、現象的な変化の背後にある因果関係について考えます。	学校教育専攻の専門選択科目及び保育士資格取得のための必修科目であるため、乳幼児期から青年期までの発達を生涯発達との関連の中で、その様相とメカニズムについて学びます。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・生涯発達心理学の立場から、現実の幼児・児童・青年の行動と心を理解する手法と能力を身につけます。 ・発達段階に応じた幼児・児童生徒の特性について基礎的な理解を深めます。	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3
S161006	学習心理学	石川隆行	心理学の1つの専門分野である「学習心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に則して講義します。	学校教育専攻の選択専門科目の1つである。必修科目である「教育心理学」における学習と学習指導に関する内容を深めます。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・「学習心理学」に関する基本的な知識を学習理論と学習指導法の面を中心に修得し、効果的な学習指導のあり方を考えることができるようにする。	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S162002	臨床心理学	白石智子	本授業では、臨床心理学の基礎知識として、心理的問題や精神障害について代表的なものをいくつか取り上げ、それぞれの症状にはどのようなものがあるか、また、どのように形成・維持・変化すると考えられているかについて、生物学的・心理的・社会的視点から講義する。	本授業は、学校教育養成課程の学校教育専攻専門科目に含まれ、専攻の専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」と深い関連がある。	・心理的問題や精神障害の操作的定義およびメカニズム論について、最低限の知識を身につけること。 ・学びを通して、人間を多次的・統合的に捉えられるようになること。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.4
S163009	社会心理学	澤田匡人	心理学の1専門分野である「社会心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に即して講義する。	中学校・高等学校の「公民」免許を取得するための選択必修科目であり、学校教育専攻の1専門分野である「教育心理学」に関する基礎的講義科目としての意義を持つ。社会調査に関する教材研究を行うのに必要な知識と技能を育成する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・社会心理学に関する基本的な知識と研究方法を具体例に則して修得する。 ・各自の体験にも拡張される様々な現象について社会心理学的な理解を深める。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2
S160500	人格心理学	川原誠司	人格心理学に関する基本的事項(性格の種類と特性、性格検査、人格発達、人格障害)を講義する	本授業は、学校教育養成課程の学校教育専攻専門科目に含まれ、専攻の専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。」、(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	人格についての基本的な知識や見方を習得すること。	0.0	0.0	0.0	0.6	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基盤教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
	メンタルヘルス実習	川原誠司	主に教職にまつわるストレスマネジメント、心身相関などの精神的メカニズムについての理解する。テスト等を通じた自己分析やグループワーク等の実習を行なう。また、自己表現の手段も学習する。	本授業は、学校教育専攻の学校教育専攻専門科目に含まれ、専攻の専門性を高めるという目標に対応している。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・精神的健康および自己分析の能力を高めること。 ・自らの言動についての省察力を高めること。 ・改善策を考慮し、そのための不断の働きかけを考慮できること。	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2
S169007	心理統計学	石川隆行, 澤田匡人	調査や実験の解析で用いられる統計の理解と実践を演習形式で行う。心理学的研究で用いられる基礎的な統計の手法(無相関検定・t検定)を取り上げる。	学校教育専攻の選択専門科目の一つとして、教員に必要な心理統計の基礎知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」と深い関連がある。	・記述統計(平均値・標準偏差・相関)の意味や算出方法を具体例に即して修得する。 ・推測統計(無相関検定・t検定・回帰分析)の意味や算出方法を具体例に即して修得する。	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
S169100	教育心理学実習	橘川 眞彦, 川原 誠司, 石川 隆行, 澤田 匡人, 白石 智子	教育心理学の基本的な研究方法や査定である「面接法」「実験法」「質問紙法」「観察法」「知能検査・発達検査」「性格検査法」について、その基本的手続きを学び、研究スキルを習得する。	本授業は、総合人間形成課程の人間発達領域専門科目の1つであり、領域における専門性を高めるという目標に対応している。また、学校教育教員養成課程学校教育専攻の専門科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・各研究方法や査定について一通りの実施や操作ができ、自らの卒業論文作成につなげる。 ・それぞれの研究方法はどのようなことを測定する場合に有効な方法なのかを理解する。 ・特定のの方法のもとでのデータ収集の仕方や分析の仕方を学ぶ。	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・ 基礎教育 目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) 保健	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.1 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S169115	教育心理学特講	石川 隆行	教育心理学における特定の研究テーマを取り上げます。今年度は「向社会性」に関わる諸問題について、その背景にある理論や様々な研究知見を具体例に則して講義します。	学校教育専攻の選択専門科目の1つとして、効果的な教育活動ができるよう基礎的な知識を提供します。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・「向社会性」に関する基本的な知識を理論と発達の面を中心に修得し、学習した内容を「向社会性」という見地から、現代の心理教育的問題について自らがまとめることができるようにする。	0.0	0.0	0.1	0.1	0.3
S166008	発達心理学特講	橘川 眞彦	今日の子どもの発達や教育についてのトピックスを取り上げ、発達心理学の研究ではどのようなところまで成果が得られているかを講義する。	学校教育専攻の専門選択科目である。トピックスとして、いじめ、不登校、非行などの背景にある心理的発達の問題について学ぶ。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	・いじめ、不登校、非行などの背景にある心理的発達の 問題について深く理解する。 ・発達問題を解決する指導法や環境構成についての技能や能力を習得する。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S950145	感情心理学特講	澤田 匡人	心理学の1専門分野である「感情心理学」に関する理論や様々な研究知見を具体例に即して講義する。	学校教育専攻の選択専門科目の一つとして、感情全般に関する基礎的な知識を授け、この分野への幅広い興味関心を喚起する。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」と深い関連がある。	感情心理学に関する基本的な知識と研究方法を具体例に則して修得する。 各自の体験にも拡張されうる様々な現象について感情心理学的な理解を深める。	0.0	0.0	0.1	0.4	0.2
	臨床心理学特講	川原 誠司	代表的・基本的な4つの心理療法に焦点を当て、その基本的知識や考え方を習得し、学校現場への適用を考えていく。	学校教育専攻の専門科目であり、教職への発展的知識取得や教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる」と強い関連がある。また、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる」とも関連がある。	・心理療法についての基本的知識を習得すること。 ・それらの専門的知見から派生する、学校教育への具体的な適用を考えられるようになること。 ・自ら調べたり、疑問を生成したり、適用案を考えたりと能動的に学習していくこと。	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3
S178111	教育心理学演習A	橋川 眞彦	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (学校教育分野)

学習・教育目標 基礎教育	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができている。		

時間割コード	授業科目名	担当者氏名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記				
						学習・教育目標の項目との 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.4 の数値で表す				
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)
S179118	教育心理学演習B	澤田匡人	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.1	0.3	0.2
S180019	教育心理学演習C	石川隆行	卒業論文の研究テーマの探索のために、教育心理学の研究論文を熟読し、その概要を発表すると同時に、発表者または教員の提示する話題について受講生同士で検討する。	学校教育専攻の専門科目であり、教育心理学関係の卒業論文の作成に備えるための選択必修科目である。専門教育学習・教育目標のうち「(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる」、「(B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。」、「(D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。」及び「(E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。」と深い関連がある。	心理学の研究論文や専門の文献を講読し、発表、相互検討することによって個々の論文の内容について理解するとともに、その過程で研究論文の書き方の基礎を学び、さらに各自の卒業論文のテーマについて具体化していくことを目標とする。	0.0	0.0	0.1	0.2	0.2